

ユニセフキャラバンキャンペーン報告

ユニセフキャラバン  
キャンペーンってなあに？



1979年の国際児童年から、年に2~3回全国各都道府県を訪問し、約4年で全国を一巡するユニセフキャラバンキャンペーンが行われていることをご存知ですか？

今年の秋(10月)には、鳥取、島根、山口、福岡、佐賀、長崎への訪問を予定していますが、これに先立って春に訪問しました静岡、岐阜、愛知、北海道でのキャンペーンからのひとこまをご紹介します。

キャンペーンでは、各都道府県の知事様・教育長様を表敬訪問してメッセージの交換、国際理解教育等の推進を目的とした教職員・指導主事の方がたを対象とした「ユニセフ研修会」の開催、学校を訪問して児童・生徒のみなさんにユニセフの活動や世界の子どもたちの状況について学習していただく「ユニセフ教室」の開催などを行っています。

ユニセフ研修会

教職員や指導主事の方がたに、ユニセフの活動の紹介、「総合的な学習の時間」でのユニセフの活用方法に関する提案をさせていただきました。また、国際理解教育の授業で、ユニセフを取り上げていただくときに役立つ当協会ホームページの紹介など、ユニセフに関する情報や資料の提供をしました。



「子どもの権利条約」について話し合う参加者たち ©日本ユニセフ協会

厳しい環境の中で生活している子どもたちもたくさんいる、ということを考えながら生活していきたいと思えます



水をいれると15Kgにもなる水がめを運んでみよう ©日本ユニセフ協会

話を聞いて、「命の大切さ」を改めて実感しました

学校訪問「ユニセフ教室」

世界には、3秒にひとり命を失う子どもたちがいること、そして日本のように水道の栓をひねればすぐに水が飲むことができない国では、長い道水をたくさん汲んで運ばなくてはならない子どもたちがいること…。ユニセフ教室ではユニセフの支援事業と世界の子どもたちの様子を写したVTRの視聴、途上国で使われているマラリア対策用の殺虫剤を染み込ませた“蚊帳”に入ってみたり、水を運ぶときに使う“水がめ”に水を入れて実際に運んでもらったりして、厳しい暮らしをしている世界の子どもたちのことを学んでいただきました。

あたたかいご支援、ありがとうございます! ユニセフ本部へ1億ドル拠出

皆様のおかげで2003年度、(財)日本ユニセフ協会はユニセフ(国連児童基金)に1億米ドルを超える拠出を行うことができました。この拠出は、2003年度中に個人、団体、学校、企業、非営利団体の皆様から寄せられた募金によるものです。皆様からの心温まるご支援に改めて御礼申し上げますとともに、今後とも引き続きユニセフを通じて世界の子どもたちをご支援賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



2004年6月9日(現地時間)、ユニセフ・ニューヨーク本部においてユニセフからの表彰式が行われ、感謝盾が贈呈された時の様子。©UNICEF/Steve Antonelli